

研究課題

環境的に持続可能な交通システムの構築

研究概要・目的

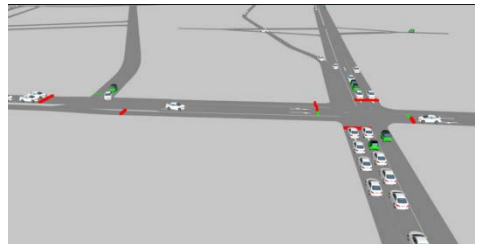
持続可能な交通システムを実現するには、環境負荷とエネルギー消費、効率性と公平性を考慮した、あるべき将来像を示すとともに、個々の交通施策や施策パッケージの提案と評価が必要です。我々の研究グループでは、電気自動車や超小型自動車等の次世代モビリティ、カーシェアリングやコミュニティサイクル等の共同利用システムを含む自動車保有・利用行動に関する研究や、それらの次世代モビリティが道路ネットワークに及ぼす影響や効率的な交通管理手法の開発等の交通ネットワーク分析、電動モビリティの普及に伴う将来電力需要とその管理手法に関する研究などに取り組んでいます。

キーワード

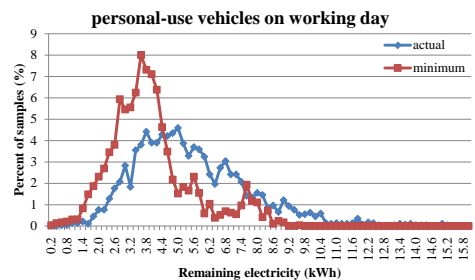
次世代自動車, カーシェアリング, プローブカー, 電力需要

技術シーズ

- ・ ミクロ交通シミュレーションによる超小型車が交通流に及ぼす影響の分析
- ・ プローブカーの長期観測に基づくプラグインハイブリッド車両の最適性分析
- ・ カーシェアリングシステムの管理データに基づく新規立地候補地の選定
- ・ 実証実験データに基づく電気自動車の充電タイミングに関する料金感度の分析



ミクロ交通シミュレーション



充電開始時の残充電量と推定限界値

連絡先

山本 俊行
三輪 富生

yamamoto@gvm.nagoya-u.ac.jp
miwa@nagoya-u.jp